

まつざき真琴 県議会ニュース



発行/日本共産党鹿児島県議団 〒890-8577鹿児島市鴨池新町10番1号 TEL/FAX099-286-3977 E-mail: kengidan@jcp-kagoshima.com
 ブログ『まこっちゃんのいっぺこっぺ奮闘記』http://matsuzakimakoto.synapse-blog.jp/ ホームページ <http://jcp-kagoshima.com> (右QRコード)

まつざき真琴県議は、6月議会において、上海への県職員の派遣の問題や総合体育館の整備予定地の問題、川内原発の再稼働の問題などについて、委員会で審議しました。
 委員会での議論の様子をお知らせします。ご意見やご要望などをお寄せください。

税金丸がかえの 上海への研修派遣は中止せよ

6月24日の連合審査会で、シールアンケートのボードを示し、県民の「反対」の声を伝えるまつざき真琴県議



当初計画—1000名の県職員を 上海へ研修派遣 300名に縮小

県は、6月議会に、上海へ1000名の県職員を研修派遣する補正予算1億1800万円を計上しました。

計画は、路線の廃止が危惧されるという理由で、7月10日の上海便から、50人ずつ20回に分けて、県職員を上海へ派遣するというものです。

このことが報道されたとたん、県民から大きな批判の声があがり、計画は、「1000人のうち300人は民間からの派遣にする」と変更されました。

その後、さらに、県民の「反対」の声に押されて、知事は議案を一旦「白紙撤回」しましたが、再提案された内容は、派遣人数を300名に減らすというものでした。

まつざき県議は、「人数の問題ではない。路線の維持のために、税金を投入して乗客を増やすという本質的な問題は全く変わっていない。」として、議案に反対しました

上海研修派遣問題についての 連合審査が開催される

まつざき真琴県議は、上海路線の維持が、県民にとってどのような意味があるのかを質問しました。

これまでこの路線には、多額の税金が投入されてきました。(下表) その結果、上海路線の乗客は、就航以来、日本人：外国人＝約8割：約2割で、ビジネスのニーズも平均で月に1件しかありません。県政の課題が様々にある中で、この路線にだけ、多額の県費を費やす必要があるのか、大いに疑問です。

まつざき県議は、路線維持のために多額な税金を使って乗客を増やすことは一時的な対策にしかならないと、上海派遣の計画に反対しました。

上海への団体ツアー助成 (2002年就航～2012年)	
助成件数	698件
助成人数	13,964人
助成額	61,814,000円

上海へのビジネスツアー助成 (2006年～2012年)	
助成件数	100件
助成人数	129人
助成額	1,030,000円

「税金のムダ使い」 「他にもっとやることあるはず」

まつざき真琴県議は、県民のみなさんの意見を聴くために、鹿児島市の天文館で、2回のシールアンケートを実施しました。

- 1回目 総数291・賛成14・反対267・わからない10
- 2回目 総数140・賛成2・反対137・わからない1

という結果で、全体の94%の人たちが「反対」でした。

同時に、意見を記入してもらう「緊急県政アンケート」も実施しました。

日本共産党県議団は、6月13日、伊藤知事に対して、上海派遣計画の中止を求める申し入れを行いました。

県民の皆様から寄せられた『緊急県政アンケート』



各党派(政党)の態度は?

- 共産党 …………… 反対
- 自民党 …………… 賛成
- 県民連合 …………… 賛成
- 公明党 …………… 反対

※県民連合…民主・社民・無所属